

第231回:親の七光りか子の七光りか

昨年10月、駐日中国大使館のHPに概略以下のニュースが掲載された。

習仲勲生誕100周年記念座談会が15日午前人民大会堂で開かれ、習近平国家主席が親族として座談会に参加、張徳江全人代委員長が座談会に出席した。習仲勲は中国共産党の偉大な指導者で、陝甘辺革命根拠地の創設者であり、建国後は副首相や全人代副委員長等を歴任した。座談会では党政府高官が演説し、習仲勲の輝かしい革命生涯と不朽の功績を回顧し、その高い品格、革命精神、崇高な風格を学び継承し発揚することを求めた。

中国の指導者は権力の正当性を証明するため、「革命本流の血筋」を喧伝する性癖があり、習仲勲万歳運動もその一環だ。もっとも彼は革命元勳として副首相まで勤めた大物だから多少の鼻頂は許容できるが過去にはひどいケースもある。李鵬元首相の父・李硯勳(1903~31)、江沢民元主席の叔父・江上青(1911~39)、彼らは「子の七光り」で英雄になった。江沢民の実父は日本軍の協力者だったため、ピンチヒッターとして反動地主に襲われて射殺された共産党員の叔父さんが身代わりに英雄になった。

毛沢東は革命戦争を国民党、日本軍、共産党が鼎立する三国志と理解し、最強日本軍との戦闘を回避する遁走の術を得意としていた。共産党が日本の旅団級の大部隊と衝突したのは「百団大戦(山西・河北省)」と、「平型関の戦闘(山西省)」だけだが、毛沢東は当初日本軍と鬪端を開けば、弱い共産党軍が倍返して反撃され、徒に国民党を利することになるとして軍事衝突に反対していた。結果オーライだったため、彼はやむなく部下を称賛したが、腸は煮えくり返っていた。自らを梟雄曹操に準えていた毛沢東から見て、関羽や張飛に見紛う彭徳懐や林彪は愛国者ではあるが、戦略を知らぬ単なる兵隊であった。

三国志や孫子の兵法を参考に日中戦争を戦った毛沢東だが、共産党の成立経緯や、指導者の人品骨柄を見ると、三国志演義と云うよりは緑林の徒が跋扈する水滸伝の方が相応しい。たとえば武闘派の代表的人物の賀龍元帥、彼の革命は16歳のとき二本の中華包丁を振り回して地主を襲撃したところから始まる。水滸伝で云えば二丁の斧を操る黒旋風・李逵だ。儒教的紳士の風貌を持つ周恩来は、上海で地下活動の責任者だったとき、国民党に寝返った裏切り党员への報復として、手下を引き連れ屋敷に殴り込みをかけ、現場に居合わせた数十人のタマを取った。まるで行者・武松による「鴛鴦楼の仇討」だ。その水滸伝、中国でも日本でも人気の講談本だが、英雄豪傑108人のなかの人気者は林冲、魯智深、武松等、早いうちから登場し、活動場面の多い連中だ。習近平の父習仲勲は水滸伝で云えば108人の最後方、つまり「長征」の後に登場する人物で、だから中国ではこれまで地味な存在だった。水滸伝で序列は上の方だが地味キャラの双鎗将・董平や急先鋒・索超といった感じかな。共産党に関する研究書で習仲勲が登場する本は極めて少ない。康生が仕組んだ謀略「反党小説【劉志丹】事件」の被害者として登場するくらいだ。鄧小平の三女が書いた「わが父鄧小平」は、若き革命家の肖像・新中国誕生への道・文革歳月と続く浩瀚な鄧小平伝だが、習仲勲は一度も登場していない(たぶん)。やはり地味な人物なのだ。

中国共産党史のクライマックスは長征である。ロング・マーチと聞けば勇壮な快進撃と勘違いしそうだが、実は国民党に追い詰められた毛沢東率いる共産党軍による夜逃げ事件(1934年~36年)を指す。共産党

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

が天下を取った後、いよいよ歴史教科書を編纂することになり、そこに「夜逃げ」や「敗走」と書くわけにもいかないので「長征」と表現した。わが帝國陸軍が「敗走」を「転進」と呼んだようなものだ。敵から「大流竄」とバカにされた総勢8万人、徒歩1万2千キロの逃避行は苦難の連続であった。国民党に自動車で追撃されたら一巻の終わりだから、逃走経路は敵が二の足を踏む絶壁や激流等の難所の連続、漸く辿りついたのが地の果て延安、住民は穴倉に住んでいた。国民党も呆れて追撃を断念した。ここで漸く習仲勲が登場する。尾羽打ち枯らした毛沢東を温かく迎えたのが北の共匪じゃなくて共産党部隊、その頭目が習仲勲であった。彼は立派な人物だが、長征の最後に登場し、それ以前の武勇譚がないが故に地味な存在なのである。

冒頭に書いた習仲勲の記念イベントは太子党決起大会の趣があり、革命の指導者の子弟が「紅二代」として多数参加した。そのなかで太子党の中心人物で、習近平政権誕生の仕掛け人、曾慶紅(元国家主席)の一族が誰も参加しておらず、爾来彼の動静が不明なため、ひょっとすると習近平の腐敗汚職追放運動に連座したのではと云う噂もある。曾慶紅が太子党のボスと云われる所以は曾一家の血統にあり、彼の両親は長征を経験した大幹部だ。夫婦揃って長征に参加したのは毛沢東＝賀子珍、朱徳＝康克清、周恩来＝鄧穎超、劉伯承＝汪榮華、羅榮桓＝林月琴、李富春＝蔡暢、ブラウン＝肖月華、張聞天＝劉英、そして彼の両親の曾山＝鄧六金くらいだ。女紅軍(長征に挑んだ女性)は僅か32名。長征参加の有無が極めて重要な出世の基準となる中国で、これは究極の財産であり曾慶紅の出世の原点でもある。いま習近平が進めている腐敗追放運動の最終標的は周永康を頂点とする石油派と云われているが、曾慶紅は石油工業の父・余秋里(元副首相)の秘書官を経て江沢民の腹心となり、政治では政治局常務委員、経済では石油派権益と云う二つの資産を手に入れた。曾慶紅は胡錦濤と政権を争わず2007年に引退するが、その交換条件が習近平の次期後継であったと云われている。石油権益は周永康(前政治局常務委員)や張高麗(現政治局常務委員)に譲渡された。そんな経緯から、本来習近平と周永康は同じ系列のはずだが、いまや周永康は風前の灯だ。こんなサプライズがあるくらいだから、もしかすると習近平は胡錦濤と同盟を結び、大恩人の曾慶紅と江沢民までロックオンしている可能性がある。曾慶紅も負けてはいない。ヤクザ用語で恐縮だが、曾と習では「貫目」が違う。本年5月15日、曾慶紅が韓正(中央政治局委員)と江沢民の長男・江綿恒(上海科技大学長)を従え、満面の笑みで上海の美術館を視察した。その数日後、今度は江沢民御大がプーチンとの面会に胸を張って登場した。これに政治的意図がないと考えるバカはいない。これは明明白白な示威行為、もしかすると挑発、警告、Ultimatum かもしれない。おおこわ～！(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年7月18日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 121 号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040